

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：石垣 善康 副会長：青島 彰 幹事：酒向 謙次 副幹事：大塚 博巳



【ゆり】

写真提供：事務局

第1905回

<ソング> 我等の生業
<ソングリーダー> 竹田 勲君



【2010-2011年度 RIテーマ】
地域を育み
大陸をつなぐ
レイ・クリンギンズミス

■ 会長報告 石垣 善康君

6月、最終月は親睦推進月間となっております。親睦と奉仕、ロータリーライフをささえる大きな柱です。本日は、親睦についてご報告いたします。日常てきに親睦 親睦といった言葉が取り交わされています。

ポールハリスが、シカゴでロータリークラブを立ち上げたわけですが、温かい例会の雰囲気づくりを第一に考えました。温かい雰囲気をかもし出す手段の一つは友情です。そして、友情=親睦と定義されています。ポールハリスの創ったクラブは、第一回の会合から、親睦が大きなパワーとなり、例会の継続の大きな原動力となりました。

クラブに親睦がみなぎっているか、温かく楽しい雰囲気があるかどうかによって、実質上クラブの力が決まります。そして親睦、友情が失われれば、クラブは崩壊します。親睦とは、ロータリークラブが存続していく上で欠かす事のできない必要条件です。そして、親睦を深める最適の場所が、週一回の例会である事を忘れてはなりません。

例会において、いかに友情を深めるかを考え実行する、全ての会員の最大の任務です。

又、新入会員は、会場運営委員会や親睦委員会を担当して頂きますが、これは新人だから、下働きに使用するという事ではなく、例会担当、親睦担当として会員の親睦を深める活動に従事することによって、一日でも早く在籍会員との交流を深め、友情を創るという大きな意味があります。

藤枝ロータリークラブに在籍し19年になりますが、このクラブの雰囲気は素晴らしいと思ってきました。

た。チャーターメンバーをはじめ在籍年の古い会員の方は、在籍年の若い会員の活動に対し、心から応援して頂ける、協力してくれる。そこには、上下関係など一切ありませんでした。又、他クラブのように、派閥ができた揉め事も一切ありませんでした。

これからも、先輩会員諸氏が作り上げて頂いた、藤枝ロータリークラブの暖かく、友情に溢れた雰囲気を受け継ぎたいと思います。

臨時理事会報告 酒向 謙次君

- 新入会員(小泉克彦 君)の入会が承認されました。

幹事報告 酒向 謙次君

- ガバナーエレクト事務所より、地区ロータリー財団セミナーのお知らせが届いております。
- ガバナー事務所より、ガバナー月信 6月号が届いております。
- ガバナー事務所より、地区委員会活動報告ならびに未清算経費に関するご依頼が届いております。
- The Rotarian 6月号が届いております。

入会式

中森 義次君が
入会されました



氏名 ^{ナカモリ ヨシツグ} 中森 義次

勤務先 (株)西駿河冠婚葬祭互助会

勤務先住所 藤枝市仮宿 1650-1

役職名 代表取締役

出席報告

竹田 勲君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
31 / 43 72.09%	34 / 42 80.95%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

河井君 鈴木邦君 鈴木廣君 仲田廣君
萩田君 松葉隆君 村松君 落合君
杉浦君 鈴木舜君 玉木君 仲田晃君

スマイルBOX

竹田 勲君

- 誕生祝ありがとうございました。忘れられているかと思っておりましたが、今朝は赤飯で祝ってくれました。 竹田 勲君

スマイル累計金額 599,500円

外部卓話

藤枝MYFC
小山 淳様



サッカーを通じて地域にパワーを

平成21年、日本初の「ネットオーナーシステム」を採用し、産声を上げた藤枝MYFCのクラブ理念は「咲かせようスマイルつなげようスポーツで、ビジョンに掲げているのが「サッカーの街からアジアのサッカーシティへ」。その根本にあるのは、サッカーを通じた地域の活性化と未来への希望づくりだ。

もともと藤枝市は県立志太中学(現藤枝東高校)開校の際、初代校長だった錦織兵三郎氏がサッカーを同校の校技にして以来、サッカーの街として知られている。しかし、現在Jリーグ所属のクラブチームを持たないことから盛り上がりやや欠けていた。

そこで、藤枝市出身で、自らもサッカー選手だった小山淳代表が新風を吹き込もうと、同チームを立ち上げた。他のクラブチームとは異なり、藤枝MYFCは大きなスポンサー企業をもたない、珍しいクラブチームだ。地域を支える企業から小額株主を募り、現在85社が株主となっている。これは、「地元の企業が資本的なつながりを持つことで、自分達のチームという思い出チームを応援してもらえる」(小山代表)というメリットがあり、地域経済の希望の集合体になるとの強い決意がうかがえる。

その思いは市民にも伝わり始めている。創部当初、県リーグに応援に駆けつけるサポーターは10人程度。それが昨年の地域決勝大会の応援に参加したサポーターは2500人と、社会リーグでは異例の大応援団を集めた。

また、トップチームに注目が集まりがちだが、理念を遂行するため、藤枝MYFCでは志太地区をはじめ、東京など各地合わせて数十ヶ所でキッズスクールを開講。少人数制のレッスンには、子どもたちがサッカーを通じて人間性を養うための教育プログラムが組み込まれている。指導者のほとんどが社員。クラブ理念やビジョンを共有した人だけが指導することで、子ども達に一貫した指導が行えるという。現スクール生は総勢700人。今も毎月100人前後増えている。

着実に広がり続ける藤枝MYFCの輪。それは、サッカー文化が花開く大きな原動力となるだろう。

冠講座

第5回(6月7日)

「園芸のABC」

鈴木 廣利君



(担当/江崎晴君)